

基本目標	1. 安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	(1) 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K P I「公共施設の総延床面積」の目標値が低い。 ・ ワークショップなどによる計画策定に携わった町民の意見が上手く反映できていないため、町民の失望感が高まっている。 ・ 町民の意見を事業に反映して推進するべきである。 <p>▼ 公共施設の総合的なマネジメントプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画による取り組みが町民に見えてこない。分かりにくい。（※1） ・ 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画は町の最重要施策である。（※2） ・ 適正な規模の公共施設の判断は難しい。計画の策定は前進と捉えられる。（※3） ・ <u>直近の新庁舎整備とコミュニティスクール導入と学校統廃合については堅実にスピード感をもって推進する必要がある。</u> <p>▼ 大規模公有地の有効活用プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立小児病院跡地は凍結したままであるので、活用予定がなければ縮小する方向性で検討すべきである。 <p>※1、※2、※3</p> <p>▼ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標「住み続けたいと思う町民の割合」の低下理由を分析し、対応するべきである。 	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」
<p>※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。</p> <p>施策「公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>公共施設再配置・町有地有効活用実施計画は、計画の進捗が町民にとって見えにくいものとなっているため、町は進捗状況を町民に対し積極的に分かりやすい情報提供をする必要がある。また、計画の推進については、国立小児病院跡地など活用の方向性が見えにくい町有地等に対して、疑問の声も上がっていることから、町民の意見を丁寧に聞きながら計画を推進することが望ましい。</p> <p>KPI「公共施設の総延床面積」の目標値については、数字の変化が見えにくいものとなっているため、計画の進捗状況を積極的に情報提供することで、町民の理解を得ることが必要である。</p>

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	1. 安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	(2) 誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった		<input checked="" type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった
<input type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▽ 施策 ・ KPI「運動習慣がある人の割合」の低下理由を分析すべきである。アンケートの方法も見直す必要がある。 また、他のKPIを追加することも検討したかどうか。 ・ KPI「健康寿命」と平均寿命を比較すると、男性15年、女性20年近く開きがある。また、国や県の健康寿命の年齢に比較して低いのはなぜか。抜本的に事業の見直しをする必要があるのではないか。 ・ KPIに、平均寿命や一人当たりの医療費も設定してはどうか。 ▼ 高齢者がいきいきと暮らせる生活支援プロジェクト ・ 地域の通いの場のシステムは評価できる。 ・ 担い手の高齢化や不足などの課題を考えると持続可能なか疑問を感じる。 ・ 様々な人が主体となって取り組めるよう、地域全体が参加しやすいシステムを構築するべきである。 ・ 若い世代との考え方に違いを認識しつつ、新たな担い手としてアプローチする方法を検討する必要がある。 ・ 地域活動力を継続的に生かして、更に目標値達成に向けて推進する必要がある。 ▼ みんなで健康づくりプロジェクト ※ 1 ▼ その他 ・ 参考資料として、国や県の数値も情報提供していただきたい。	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」
※ 第1回委員会各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。 施策「誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。 地域の通いの場は、地域の中で高齢者がいきいきと活躍できる場としては評価できるが、継続的な健康づくりを行うためには、担い手の確保を含めた持続可能な運営方法になるようシステムを見直すことが求められる。そのため、地域の誰もが参加しやすいシステムを構築するとともに、新たな担い手に対しても丁寧な説明を行うことで、互いに理解し合い、地域全体で支えあう環境づくりに努める必要がある。 KPI「健康寿命」は、施策の効果がすぐに数値に反映されるものではないものの、国や県の数値も参考にしながら、事業の進捗を管理していくことが望ましい。また、KPI「運動習慣がある人の割合」は、低下理由やアンケート方法をしっかりと分析した上で、KPIの上昇に資する事業に取り組む必要がある。

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	1. 安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	(3) 地域コミュニティの醸成支援

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▽ 施策 ・ KPI「地域コミュニティに対する町民の評価（加重平均）」の低下理由を分析し、対策をする必要がある。 ・ 施策の評価として、一色小学校区地域再生協議会の取り組みに重点をおくのか、町の取り組みに重点をおくのか整理する必要がある。 ▼みんなで地域コミュニティ再生・活性化プロジェクト ・ 一色小学校区地域再生協議会の取り組みは評価できる。 ・ 一色小学校区地域再生協議会は、予算面や担い手の確保の課題からすると継続していけるのか。予算や費用対効果についても今後検証していく必要がある。 ・ 行政が取り組みを町民に上手く発信できていないことが課題である。 ・ 今後、町は取り組みを町全体に広げていけるように、積極的に情報発信や広がっていくような仕組みづくりが必要である。 ・ 一色小学校区地域再生協議会の先進事例を参考に、二宮小、山西小コミュニティスクールを行政、地区長連絡協議会が連動しての広報活動と事業の推進が図れる環境づくりをするべきである。	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」	
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。	
施策「地域コミュニティの醸成支援」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 一色小学校区地域再生協議会の取り組みは、地域課題の解決に向けた先進的なモデル地区の活動として評価できるが、予算や担い手の確保などの課題を含めて、持続可能な体制作りを進める必要がある。また、町は一色小学区の取り組みを町全体に広げるために、町民に対し積極的に情報提供するとともに、地域をはじめ多様な主体と協力・連携し、安全・安心に住み続けられるコミュニティの醸成支援をより一層推進することが求められる。 KPI「地域コミュニティに対する町民の評価（加重平均）」は、低下理由やアンケート方法をしっかりと分析した上で、地域コミュニティに対する町民の意識醸成や町民主体の地域活動の促進に有効な事業に取り組む必要がある。	

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	1. 安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施 策	(4) 災害や犯罪に備える地域づくり

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▽ 施策	
・ KPI「防災・減災まちづくりに対する町民の評価（加重平均）」の低下理由を分析し、対策をする必要がある。	
▼ 地域ので災害に強いまちづくりプロジェクト	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定住をする上で、防災意識の高い地域というのは魅力となるので、もっと取り組むべきである。 ・ 災害は様々な想定が必要となるため、地区防災マニュアルは随時見直しを図るべきである。 ・ 行政は、各地区から収集した情報を有効に活用できていない。 ・ 平成31年度の地区別防災マニュアル策定に向けて行政、地区長連絡協議会の連携を密にして推進する必要がある。 ・ 先事例をもとに、他の地区でも地区別防災マニュアルの策定を推進する必要がある。 ・ 防災では、スマートフォンなどのICTを活用して情報を配信をすることが効果的である。 	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」	
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。	
<p>施策「災害や犯罪に備える地域づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>地区防災マニュアルの策定は、大規模な震災をはじめ、近年多発する風水害被害等に対応するために早急に策定する必要があることから、町は地域の取り組み状況を積極的に情報提供するとともに、早期策定に向け、地域をはじめ多様な主体と協力・連携し、より一層支援することが求められる。また、災害発生時を想定し、スマートフォンなどのICTを活用した情報提供・共有化のしくみづくりについても検討を進めることが望ましい。</p> <p>KPI「防災・減災まちづくりに対する町民の評価（加重平均）」は、低下理由やアンケート方法をしっかりと分析した上で、全ての町民が危険や不安を感じることはないような体制づくりに取り組む必要がある。</p>	

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	2. 二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	(1) 「にのみやLife」の提案と発信

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった		<input checked="" type="checkbox"/>
			②地方創生に相当程度効果があった
<input type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった		<input type="checkbox"/>
			④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▽ 施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ KPI「『にのみやLife』PRのHPの閲覧数」では、閲覧数を上げるだけでなく、見やすいコンテンツ作りをするべきである。 ・ HPの閲覧数が増えているのであれば、HPに予算を投入するべきである。ただし、全体的な予算のバランスを考慮して、二重投資にならないようにする必要がある。 ・ KPI「空き家バンクに登録された空き家（空き地を含む）の利活用件数」の目標値が低いのではないか。
▼ 「にのみやLife」プロモーションプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ シティプロモーションの成果は評価できる。 ・ シティプロモーション事業は、効果がある事業なのでより推進すべきである。ただし、費用対効果の検証が必要である。 ・ シティプロモーションによる移住者を上手く空き家の活用へ誘導することも重要である。 （※1） ・ 転入増加の理由を分析するべきである。 ・ 町への転入者が転出者を6年ぶり上回ったという事実は施策の素晴らしい効果である。施策を更に推進して転入者の増加を目指してほしい。
▼ 空き家を活用した定住希望実現プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ リフォーム補助制度は整理統合し広報活動に知恵を出すべきである。 （※2）
※1	
▼ 親・子・孫の同居・近居実現プロジェクト	
※2	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」
<p>※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。</p> <p>施策「『にのみやLife』の提案と発信」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。</p> <p>シティプロモーション事業は、転入増加などの効果が着実に出てきているため、取り組み内容や費用対効果をしっかりと分析したうえで、町の魅力を積極的に情報提供し、町の認知度及びイメージのさらなる向上に繋がるように、より一層事業を推進する必要がある。</p> <p>また、空き家バンク制度については、様々な世代の生活スタイルに応じた定住支援策となるよう、その他の住宅支援策を含め制度を見直すことが望ましい。</p> <p>KPI「『にのみやLife』PRのHPの閲覧数」は、目標値を大幅に上回った要因を分析するとともに、閲覧者のニーズに応じたHP内容を作成することで、より効果的に推進する必要がある。また、KPI「空き家バンクに登録された空き家（空き地を含む）の利活用件数」については、空き家の流通・利活用を促進するために、二宮町空家等対策計画に基づき着実に推進することが望ましい。</p>

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	2. 二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施 策	(2) 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▽ 施策 ・ 町民アンケートの数値は設問方法で変わるため、K P I「文化・芸術活動に対する評価（加重平均）」は、数値の低下という理由で削除するものではない。アンケートの方法を含めて検討が必要である。 ・ K P I「生涯センター・ラディアンの施設稼働率」では、稼働率を高めるためには利用料金を下げることも検討するべきである。 ▼みんなの二宮を知ろう・学ぼうプロジェクト ・ 移住促進事業のどの取り組みが、効果として繋がっているのかを分析する必要がある。 ・ 情報発信の積極的な姿勢が必要である。 ・ 移住者の声（移住理由）は重要であるため、施策に反映すべきである。 ・ <u>二宮を知ろうプロジェクトの実施計画事業が観光協会、産業振興課、商工会との連動、情報の共有化が必要な面が多い。セクション間の連動を計って更に効率よく成果を上げる必要がある。</u> ▼生涯学習センター・ラディアンの交流拠点化プロジェクト ・ ラディアン機能の見直し、交流拠点化は今後の二宮の魅力アップに重要なポイントになる。他自治体の先進事例や町民アイデアを募り、民間の力も活用してよい計画を策定する必要がある。	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。
施策「二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 移住促進事業など成果を上げている取り組みについてはしっかりと分析し、効果的な事業の推進をするとともに、町内外を問わず多くの人々へ積極的に取り組みを情報提供する必要がある。そのためには、町民や移住者の意見を丁寧に聞き、施策に反映することが重要である。また、推進にあたっては、部局の横断的な推進のみならず、民間とも連携することで、更なる推進に繋げていくことが望ましい。 KPI「文化・芸術活動に対する評価（加重平均）」は、満足度及び重要度がともに低い結果となっているものの、単にKPIの削除ではなく、アンケートの実施方法を含め検討をする必要がある。また、その他のKPIについても、目標値達成のために、利用者にとって利便性の高い環境となるよう、工夫する必要がある。

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	2. 二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施 策	(3) 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KPIが低下しているものについては、分析とそれを踏まえた対策が必要である。 <p>▼ 子どもたちの「生きる力」創造プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールの取り組みは、町の取り組みではなく、一色小学校区の地域の取り組みであるため、施策評価として「地方創生に相当程度効果があった」は高すぎる評価である。 ・ <u>先進事例を参考にして他4校のコミュニティスクール化を確実に推進するべきである。それによつての地域と連動した学校づくりこそが二宮ならではの特色ある学校教育となるはずである。</u> ・ コミュニティスクールとは何かということ、町民に対して広報活動を推進する必要がある。 	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」	
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。	
<p>施策「特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>一色小学校のコミュニティ・スクールの取り組みを先進的な事例とし、地域とともに子どもたちの生きる力を育む環境づくりを、他の4校にも展開していくとともに、町は取り組みに対する積極的な支援と情報提供をすることが必要である。また、児童生徒が安心して学べる教育環境をさらに充実させるため、将来を見据えた学校教育、学校施設のあり方について引き続き検討することが望ましい。</p> <p>KPI「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、低下理由をしっかりと分析した上で、それを踏まえた対策を講じる必要がある。</p>	

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	(1) 子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった		<input checked="" type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった
<input type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった		<input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <p>・ 指標の数字が低下しているものについては、分析とそれを踏まえた対策が必要である。</p> <p>▼子ども・子育て家庭への切れ目のない支援実現プロジェクト</p> <p>・ この施策を推進し、子育て世代の転入増加を図るべきである。ただし、費用対効果の検証も必要であるため、政策上の優先順位による予算規模の設定がポイントである。_____（※1）</p> <p>・ 子育て世代へ重点配分（人・モノ・金）をするべきである。_____（※2）</p> <p>▼子どもを安心して預けることのできる保育・子どもの居場所づくりプロジェクト</p> <p>・ 「学童保育が保護者運営から民間委託に変更になり、保護者の負担が激減した」という実績は、公費投入して得られた効果として良い事例である。</p> <p>※1、※2</p>	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」
<p>※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。</p> <p>施策「子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。</p> <p>少子高齢化が進展する中、地域社会を支えるためには活力ある若い世代の人の流れを取り込むことが重要であるため、子育て支援策においては、地域の実情やニーズに合わせ、すべての家庭が地域で安心して子育てできる環境になるよう、有効な支援を行うとともに、その取り組みについても積極的に情報提供する必要がある。</p> <p>KPI「子育て環境に対する町民の評価（加重平均）」は、低下理由をしっかりと分析した上で、安心して子育て出来る環境を実現するため、さらに推進する必要がある。</p>

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	(2) 子育てと仕事の両立の推進

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった		<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KPI「男性の家事・育児時間」、「役場男性職員の育児休業取得割合」の実績をみると着実な前進が感じられる。 <p>▼ 子育て世代のワーク・ライフ・バランス実現プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>子育てをしながら仕事をできる環境を作るため、必要なことは何かを分析し、対応をする必要がある。</u> 	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」
<p>※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。</p> <p>施策「子育てと仕事の両立の推進」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>KPIの数値は伸びてはいるが、子育て世代のワーク・ライフ・バランスを実現するためには、個人の価値観や生活スタイルに合わせた働き方の実現に必要な就業支援策をしっかりと分析する必要がある。また、家庭・地域・企業等へのワーク・ライフ・バランスの普及・促進に向けた意識啓発は、着実かつ継続的に行う必要がある。</p>

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	4. 二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	(1) 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった		<input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった		<input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▽ 施策 ・ KPIの項目（目標値）と施策の効果との関連性が薄すぎて評価の意味がない。 ・ KPI「町内起業・開業件数（商工会加入件数）」は、起業・開業件数だけでなく、廃業件数も押さえたうえで、KPIの見直しを図る必要がある。 ▼二宮町での起業・開業応援プロジェクト ・ 施策を推進するために、商工会と町がもっと連動をするべきである。 ・ 創業支援計画の支援体制の推進は更に必要である。	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。 施策「地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 商工業振興対策事業は、社会経済情勢の変化やニーズを踏まえた上で、既存の商工業者への支援の強化を図るとともに、創業支援事業計画に基づき、商工会等の関係機関と協力・連携し、きめ細やかな創業支援を行い、力強く推進することが望ましい。 KPI「町内起業・開業件数（商工会加入件数）」は、起業・開業の動きをより的確に把握し、施策の効果を検証するため、廃業件数なども併せたKPIとして設定するなど見直す必要がある。

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	4. 二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	(2) 町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▼ 施策 ・ 取り巻く環境の変化によって、基本目標に対する町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消の意義がなくなってしまう施策自体の再検討が必要なのではないか。 ・ 地球環境保全が目的であれば、KPIの設定をCO2の排出量の削減などにしてはどうか。 ・ 施策とKPIの設定に違和感がある。支援策5つを平成31年度までに実現するのか疑問である。 （※1） ▼再生可能エネルギー事業の起業支援プロジェクト ※1	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」	
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。	
施策「町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 KPI「再生可能エネルギー事業に関する起業支援策の実現数」は、施策の見直しにより再度設定されたものであるためまだ実績がでていないが、そもそも施策が基本目標の達成に資するものであるか検討する必要がある。また新たなKPIとして設定された支援策を、目標である31年度までに実現すべく、民間事業者とともに協力・連携し、その取り組みを強力に推進することが望ましい。	

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	4. 二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施 策	(3) 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出

<第1回委員会>

開催日：平成30年10月15日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▽ 施策	
▼二宮で働きたい人の就業応援プロジェクト	
・ 改善点に示されているものを含めて商工会、農業委員と連携して制度周知、広報活動に努めるべきである。	
（※1）	
▼就農・地産地消応援プロジェクト	
・ 湘南オーリーブの事業の取り組みは、前進しているため評価できる。	
・ 取り組み成果をもっとPRするべきである。	
・ 湘南オーリーブが発展していくためには、行政の支援が重要である。	
・ 町が、近隣市町村や商工会と連携して地域ブランド化に向けて更なる意志表明と支援をする必要がある。	
※1	

<第2回委員会>

開催日：平成30年11月12日（月）

二宮町総合戦略評価委員会としての「意見」	
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。	
施策「身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。	
身近な場所で働く環境づくりを整えるためには、就業・就農希望者のニーズを踏まえ、商工会や農業委員会等と協力・連携して、支援策を展開するとともに、十分な制度周知に努める必要がある。また、湘南オーリーブの事業については、町は取り組み状況を積極的に情報提供するとともに、将来的に地域資源を活用した創業や新規事業の展開に繋がる可能性のある湘南オーリーブの地域ブランド化に向け、町として積極的に支援をすることが望ましい。	